

# 歴民だより

歴史民俗資料館

平成30年度 11月号 No.61

息づく庶民の知恵

## 昔の民具

(安八町郷土資料庫 蔵)

うけ  
筥



縄文時代～

魚類やカニ、エビなどを、その習性を利用して捕獲するために、河川や池、沼、用水路、沿海の水中に沈めておく仕掛けの総称です。

素材としては、竹がもっとも多いですが、ヨシや木の枝、糸網を用いたものやガラス製のものなど多種多様あり、近年では金網製であったり合成樹脂製のものがあります。大きさもまた、ドジョウ用の小形なものから、ザリガニ用の大形なものまで幅広くあります。

ゆきひら

厚手で陶製の、底が深い土鍋をいいます。取っ手や注口、蓋がついていて、主にお粥などと煮るのに用いられました。

平安時代前期に活躍した、歌人の在原行平という貴族が、海女に潮をくませて塩を焼いたとされる故事に基づいて、「ゆきひら」という名がつけられたといわれています。行平鍋。雪平鍋。



平安時代～

ハートピア安八  
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30  
お問合せ：0584-63-1515